

欲来  
Analyze



DOJIN  
R18  
成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止

異性に好意を  
寄せられる  
ということ

更にはハーレムの  
ような状況…

そんな夢の  
ような状況に  
置かれていて  
男性が一人

彼は良い人  
ではある  
とても良い人では  
あるんだけど…

それは男女問わず  
多くの人が夢見る  
ものだろう

マホさんに  
マコトさん  
ユイさん…  
アユミさん…  
のも好意か…  
その他大勢…

種族年齢問わず  
女性ばかりに  
明確な好意を  
寄せられている  
理由はそれだけでは  
ないはずだ

事件とは呼べないけれど  
これぞ日常に潜むミステリっ

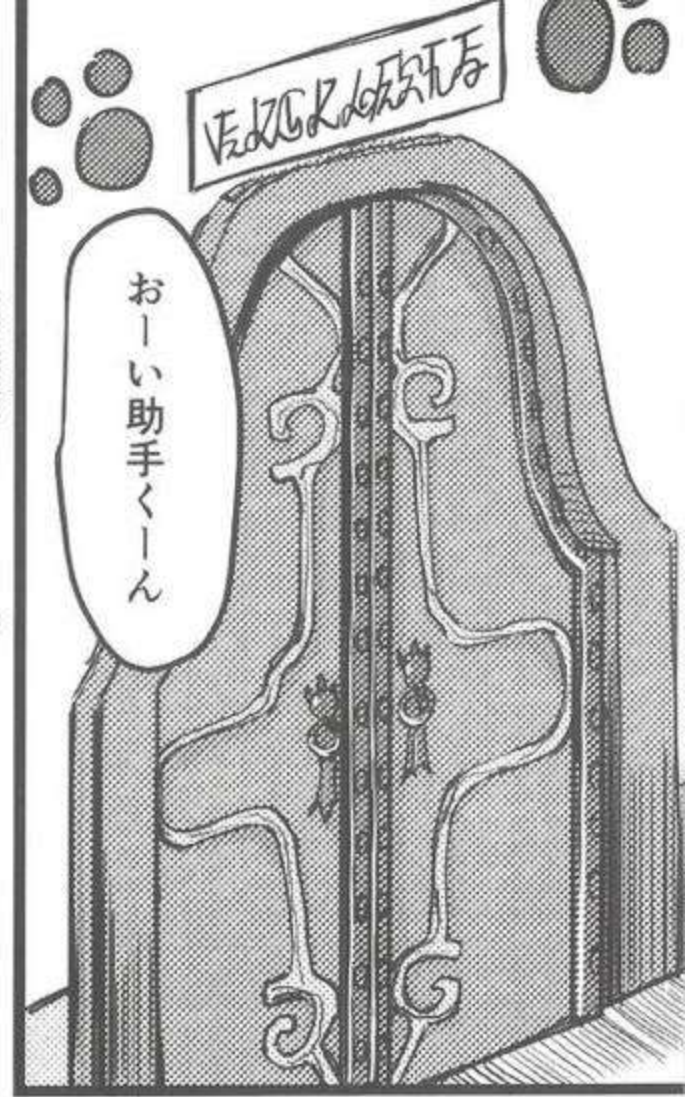
私も助手くんの  
事を考えると  
何だか胸の奥が  
こう…疼くような…

か、必ず私が  
説明してみせるっ！



ふふっ…ここ最近  
ずっとシャドウの  
調査を手伝って  
くれていたからね

うん…寝ているね…



おい助手くん



何もしないのに  
大きくなってる!!



疲れが溜まって  
いたのだろう

あ…



助手くんが  
寝ている間に  
何か手掛かりを…

ん？



!…かなり強引な仮説だけし  
助手くんからは異性を  
何か特殊な魔力の  
が出ていたのでは  
恐らくその確率は  
だ…ってこんなにも目か離せない  
なんて…こんなことが…これは  
あくまでも助手くんの出す特殊  
な魔力のせいであって決して私  
がそのようなことに興味がある  
わけではないからね…でもまだ  
単なる仮説に過ぎないわけで目  
の前にその仮説を実証できる  
チャンスがある以上名探偵

苦しそう…  
だからね…





もし助手くんが  
起きてきたら  
言い訳もできない…



す…

な



思考がッ…  
焼け…ッ！

ツッ

ツ!!



おおおおお……

お…おはよう…  
助手くん…!!

これはだね…  
その…



あれ…  
このにおい…

嗅いだことがある？  
いやそんなはずは…

すん

すん



いいいからじっと  
していたまえ!

ええいここで  
取り乱しては駄目だ!  
あくまで平静に…



頼むからそんな目で  
見ないでほしい!!

アルバイトの労を  
ねぎらうのも雇用主の  
仕事だからね!



一日中ずっと  
つけていたからね…



こういうのは  
どうだろう



んっ



ふふっ  
気に入ってもらえた  
みたいだね



良い具合に…



なっていると  
思うよ？



いいよ？助手くん  
好きなときに…



こちらが優勢に  
なってくると  
中々可愛い  
ものじゃないか



冷静に  
なった

とは言ったものの…

い…いっばい  
射精したね…



射精して  
くれたまえ!

ズン  
ズン

びん  
びん



はあ…

助手くんと  
の関係は  
一歩引いた  
ところに  
しようと思  
っていた  
はずなの…



こんなこと  
調査する  
までも  
なかった  
ね…



自カ  
警団の  
皆は海へ  
赴くらしいんだが  
私は涼しい部屋で  
過ごすほうが好みでね…

君さえよければ  
ここで二人でゆっくり…  
調査のまとめ…なんて…  
で、できれば自カ  
警団の  
皆には内緒でね…



きよ、今日は  
すまなかったね…  
私も疲れて  
いたのかな…  
なんて…あはは

ああそうだ…その…  
疲れたついでに…  
今度の長期休暇…



数日後

ほんとにカスミは  
行かなくて  
いいのかよ？

ああ  
積んでいる本が  
あるから読んで  
しまいたくてね

海に持って  
いったら  
皆傷んで  
しまうよ

それに何か起きても  
ここを使って解決  
できることなら  
私一人でなんとかなる

留守は任せて  
くれたまえ！

それなら  
しゃあないなあ

じゃあ：  
カスミはん  
よろしゅう  
お願いします

うんうん  
大船に乗っていいよ  
ギルドマスター！

お土産たーくさん  
買ってくるね！

ああ！  
思い切り  
羽を伸ばして  
くるといいよ

くんくん？  
なんや王子はんの  
においがしまへん？

そーいやあいつも  
誘ってみたんだけど  
用事があるとかで  
断られちゃったん  
だよなあ

でもやっぱり  
一緒に泳いだり  
踊ったりできなくて  
残念さ〜

ほっほらほら！  
船に間に合わなく  
なってもしらないより！







う…これは…  
独特の味…



でもこれ…



どんどん  
昂ってくる…

たっ  
たっ  
たっ

たっ  
たっ

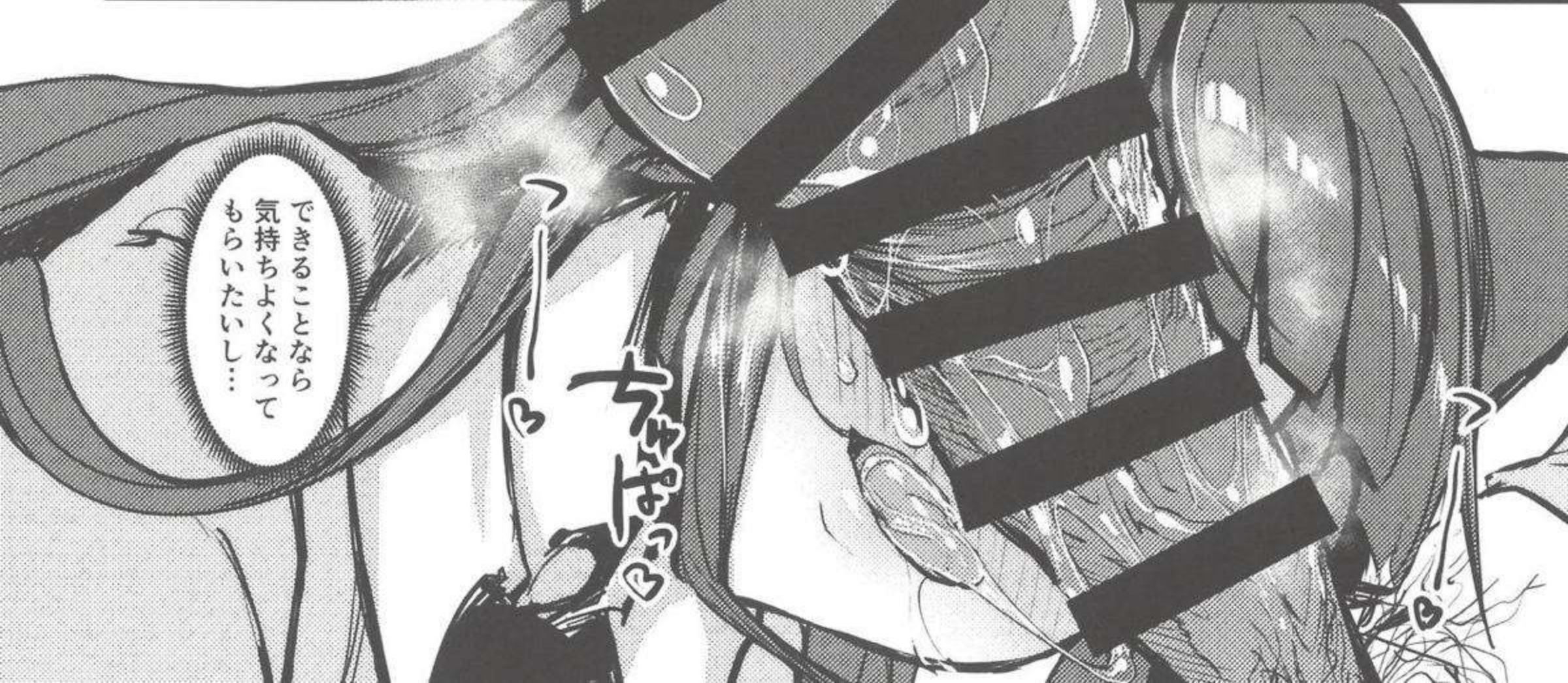
は

たっ  
たっ

たっ  
たっ

たっ  
たっ

たっ  
たっ



弱いところはっきり  
分析しておかないとね♪

半月近くあるんだ

これから…んっ

できることなら  
気持ちよくなって  
もらいたいし…





きっと今酷い顔を  
しているんだろうね…



止まらない…!

ああ…でも…



射精しすぎっ……!

ぶいびい  
ゆるい



あれ…今私…  
口に射精されて  
イッちゃった…?

は

は

は

は





随分と…  
濃厚なんだね…

ひ…ひと舐めする  
のとは違う…  
生臭さが喉の奥に  
絡みついてこれは…



ゴキョ…



大丈夫…  
場の空気はまだ私が  
握っている…



不味い…!



ちょっと  
待ってて—

少しくらい  
冒険しても…



くれたまえよ—



今これだけ出して  
まだ収まらないのかい!!

すごいね…



ふふっ 正解みたいだねっ!

お尻のほうに興味があるんじゃないかな?



ときに助手くん



助手くんはその...

はいこれ



実は私もこちらを少々嗜んでいてね...

ま...まあい...



何故って...

えっ? そういえば何故だろう... これも知っていた気がする...?

それは名探偵だからねっ! それくらいのはわかるさ

えーと...

似た者同士と  
いうわけなのだよ

スル……

雰囲気  
飲まれていると  
存外大胆に  
なれるものだね……

後で思い返したら  
悶絶すること  
なりそうだ……

あまり  
カオリさんの  
ことも  
言えないね……

ん……

でも今は助手くん  
に  
余裕をもって  
リードするところを  
見せたいっ……！

む……

む……

ム……

「め……」



だとしたら…  
ちよつと嫉妬  
しちゃうな…

…記憶が消える前とか  
誰かと付き合ってたか  
してたのかな…



なんだか手慣れ  
てるような…？

もしかして  
もう他の娘と…？



今は助手くんと  
この時を楽しもう…

うう…  
身体は正直だ…  
無粋だったね…



顔を見られるのは  
恥ずかしいから  
このまま失礼する

い、挿入れる  
のかい?

うよッ♡

ズッ



声裏返っちゃった...



改めて挿入ると  
わかる…っ

びん…っ

びん…っ

びん…っ

は

は



普段使ってる  
玩具より大きいっ

全部…  
挿入ったかな…

は

びん…っ

助手くんは…  
んっ…動かなくて  
大丈夫だからね…

は

は

は

は

びん…っ

びん…っ

びん…っ

びん…っ



一回一回が  
重いっ

みっちり  
挿入ってるからっ

ブーン

ぽちゃっ

ブーン



ぐうううっ

ぽちゃっ



ぽちゃっ

ブーン

ぽちゃっ

ぽちゃっ

ぽちゃっ

おなかの奥っ  
響くっ……!!

はー

玩具なんかと  
全然違うっ……

はー



助手くん!?

グレンツ

気持ちよくなっ♡  
なって…  
くれているかな…?

ど、どうかな…

この体勢は  
まずいっ♡



ガッ

クリ

すっ

ソッ





助手くんっ！♡

わっ♡ 私にもっと  
気持ちよくなって  
もらいたいってッ

これ以上かい!?

ズン  
やっ

やっ

ズン

やっ

ズン

ズン

ズン

あ♡



この体勢っ

あ♡

助手くんっ

はっ♡

あ♡

ズン

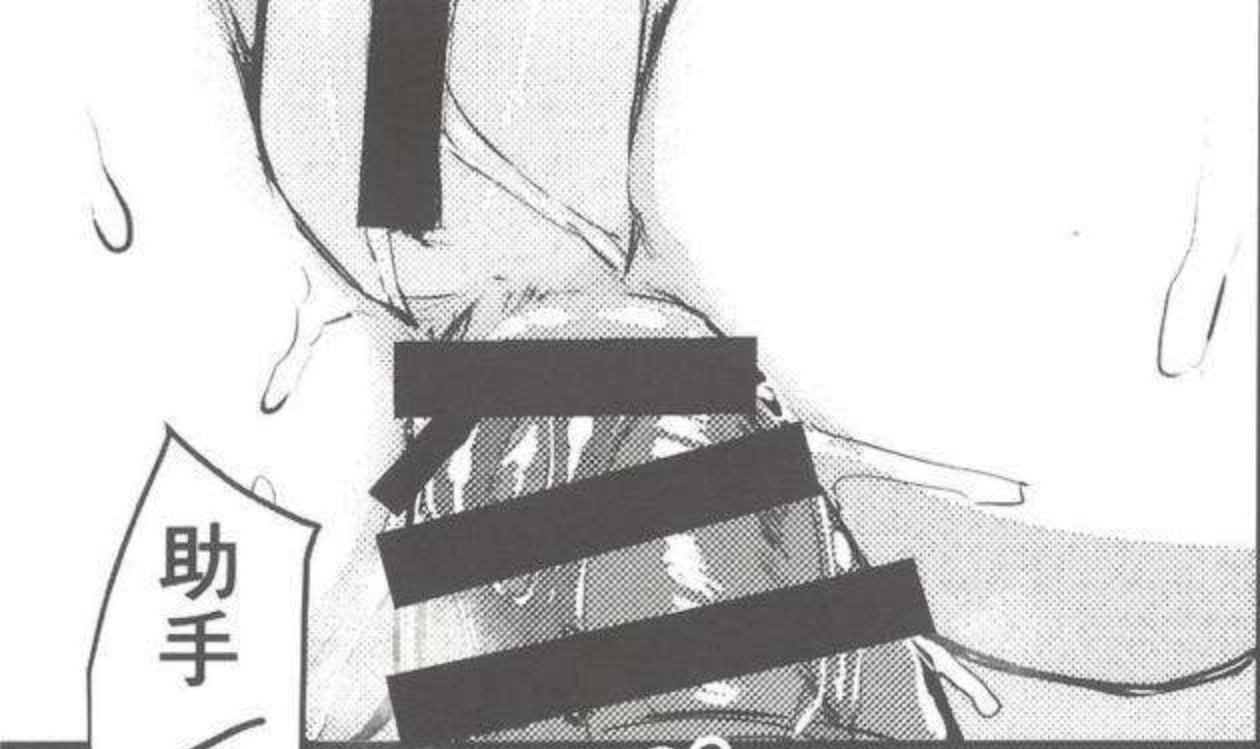
ズン

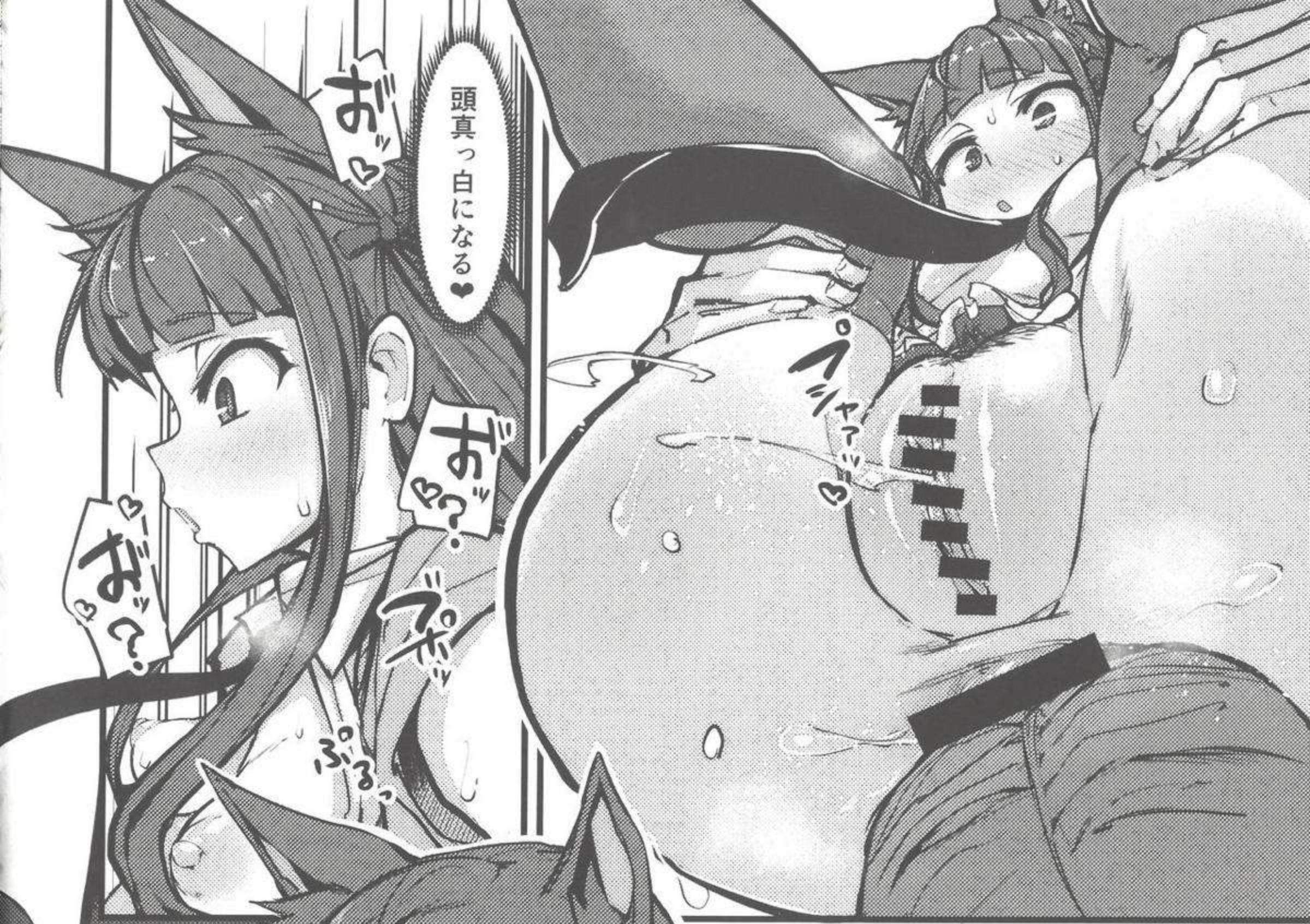
ズン

ズン

ズン

あ♡









一度ついた火は  
収まることを知らず

その後は毎日  
昼夜問わず  
応接間：

なんだい助手くんっ  
この体勢はっ!!



流石に恥ずかし…ちょっと！  
聞いているのかい!!

アア

助手く

アアア...



シャワールーム：

アア...

アア...



アア...

アア...

アア...

♡

アア...



共用の仮眠室…



普段皆といる  
ギルドハウスの  
至るところで…



背徳感はこんなにも  
性的興奮に作用する  
ものなんだね…



あっという間に二週間…  
挿入ってない時間の  
ほうが短かった…かも

抑圧されていた  
感情というものは  
末恐ろしい…



………すまない助手くん…  
その…家中のにおい消すの…  
手伝ってもらってもいいかな…

あッ!!

FIN



そういえばどうして  
助手くんの好みを  
知っていたんだろう…

あの塔で見たみたいに…  
あのときは実感なかった  
けれど…私も忘れてる  
記憶の一部…  
だったらいいな…





お手に取っていただきありがとうございます！  
1周年のタイミングで始めたプリコネにどっぷりでございます。  
どっぷりやってもそんなに重くないのがいいですね。

夏イベifみたいな感じでした。

尺がおかしいのはごめんなさい！イベ期間中の二週間っていう設定だったのに最初にいろいろ詰め込んだせいで初日以降ほぼほぼダイジェストになっちゃいましたね。

本家はなんでカスミ抜きなんだ！って思ったけどきっと本家のほうは本家のほうで二週間ギルドハウスで普段できないハードな自慰とかしてたと思います。獣人は発情期とかの関係で「察してあげる文化」みたいなものがあると思うので実際不参加表明したときカオンの皆もすんなり受け入れてくれたんだと勝手に思ってます。

キャラストーリー良すぎて☆6昇格からのストーリー続きが待ち遠しいです。メインに沿った一本筋のキャラストーリーっていう子も珍しいですね。流石名探偵と言うかキャラストーリーとかルナ塔の話とか読んでるとなんだかんだ自力で前世の存在に辿り着きそうな子ですよ。

プリコネの片道記憶喪失に見せかけた相互記憶喪失なところ大好きです。記憶喪失で身体だけが覚えているのいいよね…。

また霧原さんのほうも描いてみたいです。

カスミのキャラストーリーめっちゃ良い(二度目)のでお迎えした際は是非読んでみてください！！カオンCDのドラマパートもカスミがメイン張っててオススメ！（ダイマ）

今回から今までSAIだった線も全部クリスタ作業になりました。いかがでしょうか。ちょっとは良くなってるといいな…。

奥付

『欲求Analyze』

サークル:K2マンホール

発行人:P

発行日:2019/12/31

印刷:ねこのしっぽ様

twitter:P\_senpuki\_

mail:device\_feet\_884169@yahoo.co.jp

※18歳未満の閲覧・購入を禁じます。  
本書の不正転載・アップロード・複製を禁じます。

业·市·改

